

関西大学・早稲田大学 第5回 理工学研究交流セミナー

日時：2016年2月10日（水）14：00－17：10（開場：13：30）

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館 2階第5会議室

プログラム

- 14：00－14：10 開会の辞：
石山敦士 早稲田大学 理事
理工学術院 教授
- 14：10－14：50 講演①：
棟安実治 関西大学 先端科学技術推進機構副機構長
システム理工学部 教授
「印刷画像へのデータ埋込と携帯端末を利用した検出手法」
- 14：50－15：30 講演②：
亀山 渉 早稲田大学 理工学術院 教授
「オーディオビジュアル情報におけるアトモスフェアメタデータ」
- 15：30－15：40 休 憩
- 15：40－16：20 講演③：
森島繁生 早稲田大学 理工学術院 教授
「物理学が創る映像エンタテインメント」
- 16：20－17：00 講演④：
肥川宏臣 関西大学 先端科学技術推進機構I部門長
システム理工学部 教授
「自己組織化マップを用いた指文字認識カメラ」
- 17：00－17：10 閉会の辞：
棟安実治 関西大学 先端科学技術推進機構副機構長

お申込み

参加費は無料ですが、事前の申込みが必要となります。

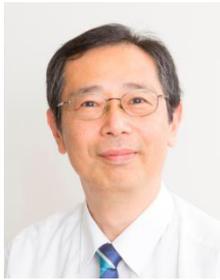
申込みフォーム【<https://web.waseda.jp/rps/websystem/system.php?id=46>】に必要事項を記入の上、2016年2月3日（水）までに申請してください。

お問い合わせ先

関西大学・早稲田大学 理工学研究交流セミナー事務局（早稲田大学研究推進部研究企画課内）
TEL：03-5272-4637 FAX：03-5272-6195 E-mail：rikougaku-seminar@list.waseda.jp

講演者 略歴

棟安 実治（関西大学 先端科学技術推進機構副機構長 / システム理工学部 教授）



1984年神戸大学大学院修士課程修了。同年沖電気工業株式会社に入社、総合システム研究所勤務。1990年鳥取大学工学部助手、1992年広島大学工学部助手、助教授を経て2001年関西大学工学部に着任、現在、同大学システム理工学部教授。博士（工学）。

画像の取得から表示までの全般に関わる技術の研究に従事。近年は、電子透かし技術を応用した印刷画像へのデータ埋め込み、音響情報を融合したマルチメディア動画像処理や歯科パノラマ X 線写真を用いた医用画像処理に関する研究に従事。

2001年テレコムシステム技術賞奨励賞（電気通信普及財団）、2005年基礎・境界ソサイエティ功労感謝状。2002年-2006年電子情報通信学会和文誌 A 編集委員、2014年よりスマートインフォメディアシステム研究専門委員会委員長。電子情報通信学会シニア会員、情報処理学会、電気学会、IEEE 各会員。

亀山 涉（早稲田大学 理工学術院 教授）



1990年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程了。工学博士。1989年同大理工学部助手。1992年（株）アスキー。1994年フランステレコム研究所出向等を経て、1999年早稲田大学国際情報通信研究センター助教授、2002年同大大学院国際情報通信研究科教授。2014年同大基幹理工学部教授。

MPEG・MHEG・DAVIC・TV-Anytime フォーラム等の標準化に関わり、ISO/IEC 13522-1 及び-8 エディタ、ISO/IEC JTC1/SC29/WG12 議長、TV-Anytime フォーラム副議長等を務める。2005年-2007年、電子情報通信学会モバイルマルチメディア通信研究専門委員会委員長。2008年-2010年、映像情報メディア学会調査担当理事。2014年より映像情報メディア学会編集担当理事。2006年映像情報メディア学会丹波・高柳賞論文賞。2007年電子情報通信学会通信ソサイエティ功労顕彰。2009年映像情報メディア学会丹波・高柳賞著述賞。2009年電子情報通信学会通信ソサイエティ活動功労賞。2012年日本 ITU 協会賞国際協力賞。電子情報通信学会、情報処理学会、シニア会員。映像情報メディア学会、画像電子学会、IEEE、ACM 各会員。

森島 繁生（早稲田大学 理工学術院 教授）



1987年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（工学博士）、同年成蹊大学工学部専任講師、1988年同大工学部助教授、2001年同大理工学部教授、2004年早稲田大学先進理工学部応用物理学教授、現在に至る。1994年から1995年トロント大学コンピュータサイエンス学部客員教授、1999年から2008年国際電気通信基礎技術研究所客員研究員。2008年から2013年 NICT 客員研究員。新潟大学非常勤講師。

コンピュータグラフィックス、コンピュータビジョン、音楽・音声情報処理、ヒューマンコンピュータインタラクション、感性情報処理の研究に従事。1992年電子情報通信学会業績賞受賞、2001年情報処理学会インタラクションベストペーパー賞受賞、2010年電気通信普及財団賞（テレコムシステム技術賞）受賞。画像電子学会副会長、芸術科学会理事、日本顔学会理事、IEEE、ACM、情報処理学会、日本音響学会、映像情報メディア学会、日本心理学会各会員。ACM SIGGRAPH ASIA 2015 Workshop/Partner Event Chair、画像電子学会 2016年度年次大会大会長。

肥川 宏臣（関西大学 先端科学技術推進機構 I 部門長 / システム理工学部 教授）



1984年慶應義塾大学工学部電気工学科卒業、1989年同大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士後期課程修了。同年、米国フロリダ州立南フロリダ大学電気工学科博士研究員。1992年大分大学助手、助教授を経て2008年関西大学システム理工学部に着任。

各種情報処理アルゴリズムを直接実行する電子回路による専用ハードウェアの開発と応用に関する研究を行っている。情報処理システムの全体、または一部を専用ハードウェアとすることで処理速度、消費電力などの改善を図る。ハードウェア化に適したアルゴリズム開発と実験による評価を行っている。現在は、主にニューラルネットワークのハードウェア化に関する研究を中心として、ニューラルネットワーク関連の研究を行っている。

IEEE、IEICE、IPSJ 各会員。